

# ジーンテクノサイエンスと Global Pharm が ヘルスケア関連商品開発に向けた戦略的提携を発表

2014年2月27日東京発

株式会社ジーンテクノサイエンスは、中国の大手製薬企業Global Pharm Holdings Group Inc.との戦略的提携を発表した。ジーンテクノサイエンスは、バイオ後続品及びバイオ新薬の開発において実績を有するバイオベンチャー企業であり、Global Pharmは、生薬原料をはじめとした医薬関連製品の製造及び流通において中国を代表する企業である。この提携は、双方の強みを組み合わせることで、ヘルスケア関連商品の開発促進、アジア全域における両社の販売チャネルの拡大、将来的な投資及び協力機会の推進を狙いとしている。

この提携により、ジーンテクノサイエンスと Global Pharm は、革新的なヘルスケア関連商品の共同開発と、両社が持つ日本と中国の流通・販売チャネルの活用が可能となる。Global Pharm は、ジーンテクノサイエンスの医薬品開発、抽出技術の専門家チームの助言を受けることができ、同様に、ジーンテクノサイエンスは、中国最大級の漢方薬の標準化製造・処理システムを有する Global Pharm が栽培する世界有数の薬草原材料の安定供給を受けることが可能となる。

ジーンテクノサイエンスの代表取締役社長河南雅成氏は、「我々は生薬原料をはじめとした医薬関連製品の製造及び流通において中国の代表的な企業である Global Pharm との提携に心躍る思いである。我々の技術と専門知識は革新的なヘルスケア関連商品の開発に寄与し、我々も Global Pharm の高品質な薬草の提供と中国市場における広範囲な販売流通ネットワークの恩恵を受けることができるだろう。」と述べた。

Global Pharm の CEO 兼社長 Yunlu Yin 氏は、「我々はヘルスケア関連商品の改良に向けてビジョンの共有に至った。我々の製造・処理システムは、ジーンテクノサイエンスにとって最適なプラットフォームだと考えている。我々の高品質の薬草とジーンテクノサイエンスの最新の技術の組み合わせにより、双方のヘルスケア関連商品の向上が見込まれる有意義な提携となる。」と述べた。

なお、両社は事業化検討のための覚書に基づき、詳細について今後協議を行い、6ヶ月以内に正式な業務提携契約を締結することとしている。

## 株式会社ジーンテクノサイエンス（東証マザーズ：4584）

ジーンテクノサイエンスはバイオ医薬品開発において実績を有するバイオベンチャー企業であり、主な事業内容はバイオ医薬品の研究開発、製造及び販売である。本社は札幌。主にバイオ後続品事業とバイオ新薬事業の2事業を、臨床試験企業、非臨床試験企業及び製造受託企業との提携を通じて進める。

## Global Pharm Holdings Group Inc.（非公開会社）

Global Pharm Holdings Group Inc. は、中国最大の漢方薬の標準化製造・処理システムを有し、野生種朝鮮人參の最大市場シェアを持つ中国の大手製薬企業。医薬品関連製品の流通、中国の伝統的な医薬品（TCM）の薬草加工、薬草栽培及び販売を行う。本社は深圳市。大規模な漢方薬栽培、地域の医薬品流通チャネルと販売網構築に重点的に取り組む。